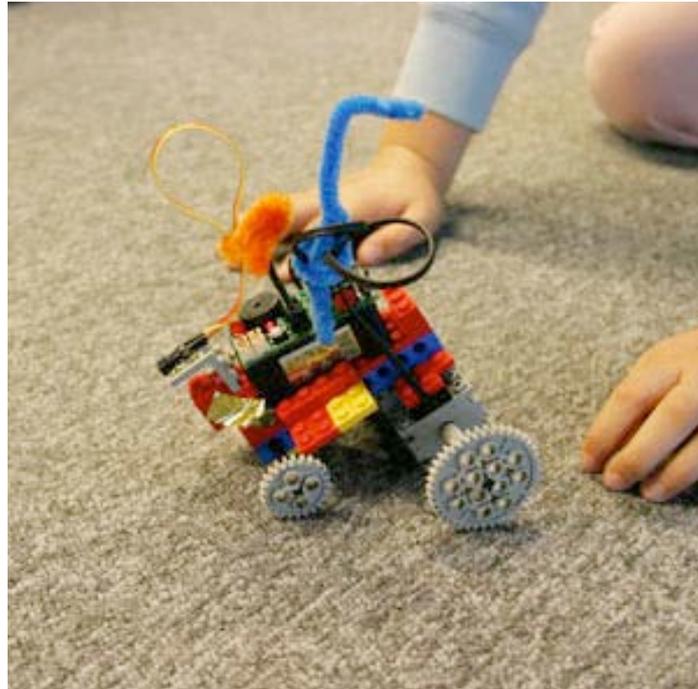




YCAM 夏休みワークショップ 「クリケットワークショップ」開催のお知らせ



山口情報芸術センターでは、夏休み企画として、マッチ箱大の小さなコンピュータと、日用品を組み合わせて、動くおもちゃをつくる「クリケットワークショップ」を開催します。

おもちゃの外観をつくるだけでなく、組み合わせたモーターやセンサーをコントロールするための、プログラムも簡単につくることが出来るユニークなワークショップです。今回、山口情報芸術センターでは、夏休みの教育普及企画として、コンピュータについて学び、メディアへの理解を深めることを目的として、CAMP との協力のもと、このワークショップを実施いたします。

<実施概要>

実施日：2007年8月15日（水）～8月31日（金） 火曜休館

開催時間：13:00～17:00

開催場所：山口情報芸術センター 創作・学習室 参加費：1日300円

各回一日完結 各日先着10名申し込み制（空きがあれば、当日申し込みも可能）

実施対象：小学生(小学校3年生以下は、保護者同伴のこと)

※ 8/6日 13:00-17:00 出張ワークショップを徳地中央公民館にて実施します。

主催：財団法人山口市文化振興財団 協力：株式会社 CSK 社会貢献推進室 CAMP 企画：山口情報芸術センター 後援：山口市、山口市教育委員会

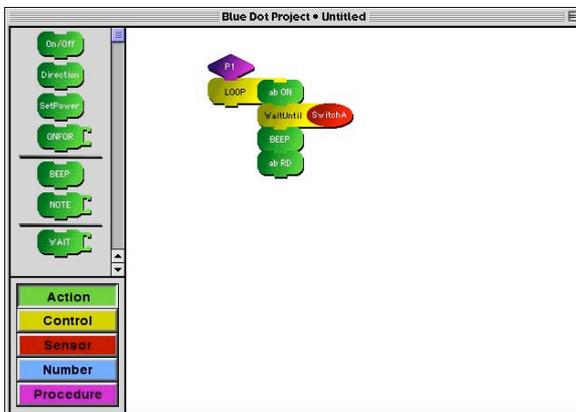
<企画概要>

クリケットについて

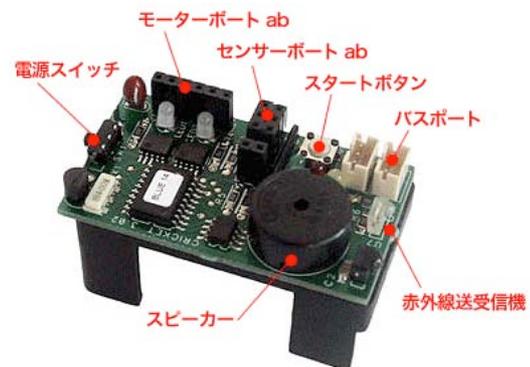
クリケット(cricket)とは、マッチ箱大の小さなコンピュータです。9 ボルト電池 1 個で動作が可能で、モーターやセンサーを取り付けてコントロールすることができます。さらに、子ども向けに開発されたクリケット専用のコンピュータプログラミングソフトが添付しているので、誰でも簡単にプログラムを作って実行させることができます。

このコンピュータとソフトウェアのキットは、米マサチューセッツ工科大学 (MIT) のメディアラボという研究室が、子ども向けにプログラミングの基礎を教育する事を目的に開発したものです。日本においては、株式会社 CSK ホールディングス社会貢献推進室が運営をおこなっている、CAMP (Children's Art Museum & Park 子ども向けワークショップを中心としたミュージアム、京都府、<http://www.camp-k.com/>) というミュージアムが、全国の学校やアートセンターなどの教育機関向けに、マニュアルなどを含めた「ワークショップキット」を無償で貸与し、普及活動を行なっています。

プログラミングソフトの画面



クリケット本体



ブロックのようなパーツを組み合わせることにより、プログラミングを行います。クリケットコンピュータに行わせる動作の手順を視覚的に組み立てていくことができます。

クリケットワークショップについて

クリケットワークショップの目的は、

「内部での動作がわかりにくいために敬遠しがちなコンピュータの内部の仕組みについて、**理解し、使いこなすこと**」

です。ワークショップのキットは、パーツ、マニュアル、ソフトウェアなど、ワークショップ開催に必要な全てのものが揃えられています。参加者達は、パソコンの画面上で自分だけのコンピュータプログラムを作り、その場ですぐに実行して試してみることが可能です。**難しいと思われがちなコンピュータのプログラムも、実は小さな命令の組み合わせで出来ている**、ということが理解できます。

さらにこのワークショップが**優れている点**として、コンピュータの**プログラムだけにとどまらず、歯車といった機構**を考えることや、**装飾**のための日用品（毛糸や風船、リボンなど）との組み合わせを行いながら、**ソフト的、ハード的な組み合わせによる創意工夫**を行って「動くおもちゃをつくる」という目的にむかいます。この活動の中で参加者達は、**試行錯誤**をしながら、コンピュータの仕組み、そしてそれらの応用の仕方について、**効果的かつ創造的に学習**することが出来ます。

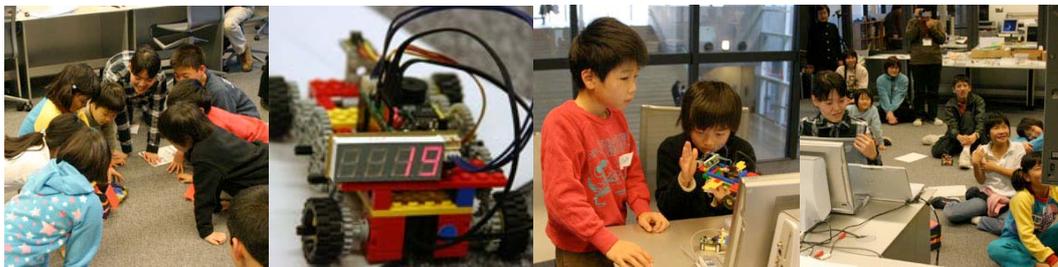
(※ つくったおもちゃを持ち帰ることが出来ません。)

過去の実績：

YCAMでは、2003年冬にクリケットワークショップを開催し、たいへん好評を頂きました。

クリケットワークショップ「うごくおもちゃを作ろう」

2003年12月14日（日）～2004年1月11日（日）全7回



＜メディア教育ツールとしてのクリケット＞

メディアを活用したアート作品や舞台作品を展示、上演する山口情報芸術センターでは、「メディア」についての理解や活用を促す教育普及事業を展開しています。

この中で、メディアと作品との関わりを直接的に説明する「ギャラリーツアー」などの企画とは別に、メディアの持っている可能性や創造的な活用方法を、中長期的な視点で、子ども達を中心に伝えていくことも重要な役割であると考えております。

マサチューセッツ工科大学は、世界有数の工学系大学として先進的な研究が行なわれている一方で、多くの子どもが楽しくメディアについて学べるよう、「クリケット」のようなメディア理解のための非常に優れたツールを開発しています。数学嫌い、理科嫌いといった問題が叫ばれる昨今ではありますが、もはや「社会環境としてのメディア」があふれる社会に生きる子ども達に、これらの基本的な仕組みを、わかりやすく楽しく伝えることは、アートセンターの果たす役割としても重要であると考えております。

＜クリケットワークショップ（スタッフ向け研修） 於:徳地＞

YCAM でのクリケットワークショップに先立ちまして、下記の予定で子ども達に向けた出張ワークショップを開催致します。これは、株式会社 CSK 社会貢献推進室 CAMP による、ワークショップファシリテーター（進行担当者）養成講座の一環として行われるものです。ワークショップ開催において、よりよい体験を提供するために、ファシリテーターの司会進行の手腕が非常に重要視されております。4 日から行われるファシリテーター養成研修の仕上げとして、出張ワークショップを行いますので、ご案内申し上げます。

2007 年 8 月 6 日 13:00～17:00（予定）

山口市徳地中央公民館（山口市徳地山村開発センター内）農林図書館開催
山口市徳地 堀 1533
0835-52-0217

対象：小学校 4 年生～6 年生 6～8 名程度

※出張ワークショップの取材について、日程などの変更の可能性もありますので、詳細はお問い合わせ下さい。

<ワークショップ概要>

YCAM 夏休み「クリケットワークショップ」

<実施内容>

実施日：2007年8月15日（水）～8月31日（金） 火曜休館

授業時間：13:00～17:00

開催場所：山口情報芸術センター 創作・学習室

実施対象：小学生(小学校3年生以下は、保護者同伴のこと)

定員：各日先着10名申し込み制（空きがあれば、当日申し込みも可能）

参加費：300円（キット以外の消耗品実費として）

申込方法：葉書・FAX・e-mailにて、参加希望日、住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日(保険適用のため) 電話番号・e-mail等連絡先をご記入の上、下記へお申し込みください。

〒753-0075 山口市中園町7-7 山口情報芸術センター 夏休みクリケットワークショップ係

TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216

cricket2007@ycam.jp

※当日会場のパソコンが空いていれば当日参加受付が可能ですが、ワークショップ進行上、開催時間途中からの参加は出来ません。

講師：山口情報芸術センター スタッフ

[主 催] 財団法人山口市文化振興財団

[協 力] 株式会社CSK ホールディングス社会貢献推進室 CAMP

[企 画] 山口情報芸術センター

[後 援] 山口市、山口市教育委員会

<山口情報芸術センターへのアクセス>

■JR新山口駅から

- ・ JR山口線湯田温泉駅下車、徒歩20分/タクシー5分
- ・ JR山口線山口駅下車、徒歩20分/バス10分(中園町か済生会病院前下車)/タクシー5分
- ・ 防長バス/JRバス25分、中園町下車

■自動車利用

- ・ 山陽自動車道で防府東ICから30分/九州・中国自動車道で小郡ICから15分

<お問い合わせ>

山口情報芸術センター（広報担当：小滝）

〒753-0075 山口市中園町7-7

TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216

E-MAIL:information@ycam.jp <http://www.ycam.jp>

※取材をご希望の方は事前にご連絡ください